

## 令和7年度 第1回学校運営協議会 実施報告書

日時：令和7年4月23日（水）14:20～

場所：岩手県立雫石高等学校 会議室

授業見学 5校時（13:25～14:10）

【会 長】	大 橋 良 二	（株）しずくいし 代表取締役
【副会長】	吉 田 孟	雫石高等学校 PTA 会長（欠席）
【委 員】	（五十音順）	
	上 野 幸 彦	雫石高校を支援する会 会長
	大久保 誠	雫石商工会青年部
	熊 谷 一 也	盛岡西消防署 雫石分署長
	櫻 田 七 海	NPO 法人まちサボ雫石 理事長
	酒 井 文 徳	雫石町総合政策課係長（欠席）
	佐 藤 光	雫石町立雫石中学校 校長
	佐 藤 広 志	雫石高等学校 同窓会長（欠席）
	下 川 恵 司	雫石町生涯文化スポーツ課 社会教育指導員
	藤 本 達 也	永昌寺住職 雫石保育園理事長 雫石町社会福祉協議会会長
	吉 田 修	雫石プリンスホテルファイナンシャルコントロール支配人（欠席）
	菊 池 由美子	雫石高等学校 校長

### 【雫石高校】

伊 藤 康 二	副校長
嵯 峨 真由美	事務長
田 沼 貴 之	総務主任
中 村 修 子	教務主任

#### 1 開会

#### 2 会長挨拶

#### 3 校長挨拶

#### 4 委員自己紹介

#### 5 学校概況説明

#### 6 協議

##### （1）令和7年度学校運営協議会委員（案）について・・・承認

###### 【説明】

・本校 PTA 会長の山口委員が5月で退任となるため、副会長を新 PTA 会長に就任予定である吉田さんをお願いした。雫石町立雫石中学校の菊地委員の後任として佐藤光さん、小林委員の後任として雫石商工会青年部の大久保さん、櫻田紀子委員の部署異動に伴い後任に雫石町総合政策課係長の酒井さんに委員をお願いした。また柿木委員からは他の委員と構成員区分が重なるため、今年度の委員についてご辞退の申し出をいただいた。

##### （2）令和7年度学校経営計画について・・・承認

###### 【説明】

・昨年度からの変更点として、台湾の高校との交流が活発になり、さらに台湾派遣事業を開始したことから、学校経営計画「4 目指す学校像、」の「（1）今年度の重点目標 ウ」を「地域との協働を中心とした活動実践及び国内外の他地域との交流」とした。また「（2）取組方針のウの（ウ）」を「沿岸地域や海外との交流を通して、多様な視点や思考を育むことに加え、地域の良さを再確認し、地域文化や伝統を大切にする意欲を向上させる。」にした。さらに「重点目標エ」の達成指標を「認知したいじめが解消した割合【100%】」とした。

###### 【意見】

・「重点目標 ウ （ウ）地域との協働を中心とした活動実践及び国内外の他地域との交流」において、台湾への派遣については情勢をきちんと確認して、進めてほしい。

## 7 意見交換、委員からの提言

- ・小学校と高校との交流の取り組みの可能性は十分にある。小学校と道の駅での交流活動が行われている。このような活動に以前、高校生も参加し活動を行っていた。
- ・交流活動については時間と授業の予定のすり合わせを行いながら模索している。
- ・通級指導はどのような形で実施しているのか。
- ・小・中学校とは異なり、学習活動として行っている。社会の中で生きていく力を身に付けさせる教育を行っている。
- ・雫石町からの支援やきめ細かな高校の指導により生徒数が増加したが、教職員は増員になったのか。
- ・教員定数には規定があるため、増員はない。授業時間の増加には、教員が対応している。本校では通級指導のため、定員が1名加配される配慮をいただいている。
- ・保育園体験等もしてほしい。授業後の受け入れも可能であり、保育士不足の解消にもなる。
- ・希望ヶ丘学園等からの交流・ボランティアの要請はないか。
- ・雫石商工会青年部では望ヶ丘学園とともに活動している。
- ・小学校等との連携において、単位として認められるものはないのか。
- ・単位としての認定できるのはその活動内容が授業内容に合致している場合となる。
- ・学校運営協議会委員の役割について、プリントを配付した。学校運営協議会は校長とともに考えそれを支えるものである。学校と地域とをコーディネートし、地域と学校のWIN&WINの活動を協働するものであり、法律に基づいた活動ということを確認したい。
- ・昨年度以上に高校との連携を強化したい。中・高連携や小・中・高の連携の一体化を図りたい。
- ・地域のコミュニティーが小規模化している。成長を見守りたい。
- ・2月に大船渡の大規模火災があった。毎日、防火対策の放送を行っているが、火災が起こる可能性があるので注視している。熱中症・異常な気候・落雷などの危険を回避する指導をしてほしい。
- ・生徒が経験を積む機会を設け、連携の手伝いをしたい。将来を担う子どもの育成に努めたい。大規模な学校に対応できない子どももいる。そういった生徒をフォローしたい。
- ・今後の高校再編計画において、小規模校が対象になる可能性もあるが、雫石町のために存続してほしい。小学校等との連携、教員間の交流も必要だ。
- ・地域の方々が学校に声をかけるのは難しい面があるので、協議会の委員が地域の人々の声を届けてほしい。

## 8 その他

- ・特になし

## 7 閉会

- ・辞令書交付
- ・次回は1月開催を予定している。